



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月6日

上場会社名 株式会社 ユナイテッドアローズ
 コード番号 7606 URL <http://www.united-arrows.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 竹田 光広

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部部長 (氏名) 中澤 健夫

TEL 03-5785-6325

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

平成29年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	69,740	7.2	3,026	76.5	3,124	73.3	1,268	45.8
29年3月期第2四半期	65,083	1.5	1,714	52.6	1,803	50.2	870	59.3

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,381百万円 (56.4%) 29年3月期第2四半期 883百万円 (56.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	44.76	
29年3月期第2四半期	28.80	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	70,720	30,873	43.1	1,074.11
29年3月期	67,799	30,980	45.2	1,081.49

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 30,468百万円 29年3月期 30,630百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		20.00		58.00	78.00
30年3月期		20.00			
30年3月期(予想)				58.00	78.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	153,859	5.7	9,953	8.6	10,100	7.2	5,496	5.9	194.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	30,213,676 株	29年3月期	30,213,676 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	1,846,972 株	29年3月期	1,890,835 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	28,337,702 株	29年3月期2Q	30,213,603 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 【第2四半期連結累計期間】	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融政策によって企業収益と雇用環境に穏やかな改善が見られるものの、金融資本市場の変動や海外経済の不確実性などにより、先行きの不透明感が続いています。衣料品小売業界においても訪日外国人による免税需要の回復やネット通販上の拡大などが見られる一方、賃金や可処分所得の伸びは鈍く、お客様の節約志向の高まりや慎重な購買行動が継続しています。

このような状況の下、当社は平成30年3月期の単年度経営方針として「収益性の早期改善」を掲げ、この達成に向け「売上総利益率の改善」、「在庫効率の改善」、「販管費率の改善」、「ネット通販上の拡大による収益性の改善」の4つの重点取組課題を定めております。

「売上総利益率の改善」については、当社の商品戦略の柱である基本商品政策の社内浸透を進め、価格と価値のバランスを十分に見極めた価格設定を行なうことで、定価販売比率を高めます。加えて気温変動の影響を受けづらいビジネス需要や式典需要などへの対応を強化して売上の安定化を図り、売上総利益率の改善につなげます。当第2四半期累計期間は、これらの取組みを進めたほか、為替の影響等に伴う仕入原価率の低減や、連結子会社における値引販売の縮小等に伴い、売上総利益率は前年同期を0.4ポイント上回りました。

「在庫効率の改善」については、商品の品番数を削減し、商品一点一点の完成度を高めています。加えてシーズン当初の在庫投入量を抑制しつつ、売上動向を見ながらシーズン途中での売れ筋商品の追加生産を実施することで、在庫効率の改善を進めています。当第2四半期累計期間末のたな卸資産の前年同期末比は1.7%減となり、同期間の売上高伸長率(7.2%増)を大きく下回りました。

「販管費率の改善」については、プロジェクトチームを結成して社内業務のたな卸しを実施しています。効率の悪い業務や不要なコストを抜本的に見直し、販管費率の改善につなげます。当第2四半期累計期間の販管費率は、増収に伴う相対的な人件費率の低減やたな卸資産の効率化に伴う関連コストの低減、その他固定費率の低減等により、前年同期を1.3ポイント下回る46.9%となりました。

「ネット通販上の拡大による収益性の改善」については、今年4月に各ブランドサイトとユナイテッドアローズオンラインストアの統合リニューアルを実施しました。オンライン裾上げサービスなど各種サービスも拡充し、実店舗とオンラインストアのどちらでも安心してご購入求めいただける環境を整えています。同時にネット通販店舗への在庫供給を増やして販売機会ロスを極小化し、実店舗とオンラインストアの双方の売上につながる販促活動を行った結果、当第2四半期累計期間の単体ネット通販売上高は前年同期比21.0%増と大きく伸長しました。

出退店では、ユナイテッドアローズ事業：5店舗の出店、2店舗の退店、グリーンレーベルリラクシング事業：3店舗の出店、スモールビジネスユニット：2店舗の出店、4店舗の退店、アウトレット：2店舗の出店を実施した結果、当第2四半期累計期間末の小売店舗数は222店舗、アウトレットを含む総店舗数は248店舗となりました。

続いて、主な連結子会社の状況として、株式会社フィーゴは、若干の減収となりましたが、売上総利益率の改善、販管費率の低減等により増益となりました。出退店では1店舗の出店を実施し、当第2四半期累計期間末の店舗数は18店舗となりました。

連結子会社の株式会社コーエン(決算月：1月)は、実店舗・ネット通販双方とも好調に推移し、増収増益となりました。なお出退店では2店舗の退店を実施し、当第2四半期累計期間末の店舗数は85店舗となりました。

連結子会社のCHROME HEARTS JP 合同会社(決算月：12月)については、ビジネスユニット売上が前年同期を上回って推移しました。なお当第2四半期累計期間末の店舗数は10店舗です。

また、連結子会社の台湾聯合艾諾股份有限公司(決算月：1月)の当第2四半期累計期間末の店舗数は3店舗、

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高については、新店出店に伴う増収、既存店の増収、ネット通販の伸長等により、前年同期比7.2%増の69,740百万円となりました。なお、株式会社ユナイテッドアローズにおける小売+ネット通販既存店売上高前期比は104.1%となりました。売上総利益は前年同期比8.1%増の35,708百万円となり、売上総利益率は前年同期から0.4ポイント改善の51.2%となりました。販売費及び一般管理費は前年同期比4.4%増の32,682百万円となり、販売費及び一般管理費率は前年同期から1.3ポイント低減の46.9%となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の営業利益は3,026百万円（前年同期比76.5%増）、経常利益は3,124百万円（前年同期比73.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,268百万円（前年同期比45.8%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末と比較して2,881百万円(6.4%)増加の48,033百万円となりました。これは、現金及び預金が920百万円、商品が1,778百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が10百万円、未収入金が53百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して40百万円(0.2%)増加の22,686百万円となりました。これは、償却などにより建物及び構築物が403百万円減少した一方、商標権の取得などにより無形固定資産が255百万円、出店などにより差入保証金が42百万円、それぞれ増加したことなどによります。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末と比較して3,894百万円(13.1%)増加の33,700百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が2,741百万円、短期借入金が1,970百万円、賞与引当金が225百万円それぞれ増加した一方、1年内返済予定の長期借入金が1,002百万円、未払法人税等が328百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して866百万円(12.4%)減少の6,146百万円となりました。これは、資産除去債務が133百万円増加した一方、長期借入金が1,000百万円減少したことなどによります。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して106百万円(0.3%)減少の30,873百万円となりました。これは、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により1,268百万円増加した一方、配当金の支払により1,642百万円減少したことや、自己株式が譲渡制限付株式報酬として処分したことにより139百万円減少したこと、また繰延ヘッジ損益が62百万円増加したことなどによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年10月27日に発表した平成30年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,870	6,791
受取手形及び売掛金	252	241
商品	25,654	27,433
貯蔵品	555	714
未収入金	10,161	10,108
その他	2,663	2,751
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	45,152	48,033
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,332	7,928
その他（純額）	1,877	1,786
有形固定資産合計	10,209	9,715
無形固定資産		
その他	1,965	2,221
無形固定資産合計	1,965	2,221
投資その他の資産		
差入保証金	8,716	8,759
その他	1,775	2,012
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	10,471	10,749
固定資産合計	22,646	22,686
資産合計	67,799	70,720
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,399	12,140
短期借入金	6,300	8,270
1年内返済予定の長期借入金	3,992	2,990
未払法人税等	1,346	1,018
賞与引当金	1,740	1,966
役員賞与引当金	9	3
その他	7,017	7,312
流動負債合計	29,805	33,700
固定負債		
長期借入金	3,500	2,500
資産除去債務	3,494	3,628
その他	17	17
固定負債合計	7,012	6,146
負債合計	36,818	39,846
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,030	3,030
資本剰余金	4,128	4,140
利益剰余金	29,515	29,141
自己株式	△6,000	△5,861
株主資本合計	30,673	30,450

その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△46	15
為替換算調整勘定	4	2
その他の包括利益累計額合計	△42	18
非支配株主持分	349	405
純資産合計	30,980	30,873
負債純資産合計	67,799	70,720

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	65,083	69,740
売上原価	32,051	34,031
売上総利益	33,031	35,708
販売費及び一般管理費	31,316	32,682
営業利益	1,714	3,026
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	35	13
仕入割引	32	29
受取賃貸料	8	12
受取手数料	10	30
その他	36	54
営業外収益合計	124	140
営業外費用		
支払利息	16	19
賃貸費用	8	12
その他	10	9
営業外費用合計	35	42
経常利益	1,803	3,124
特別損失		
固定資産除却損	64	58
減損損失	260	810
投資有価証券評価損	0	-
その他	11	4
特別損失合計	336	873
税金等調整前四半期純利益	1,466	2,250
法人税、住民税及び事業税	645	1,101
法人税等調整額	△42	△171
法人税等合計	602	929
四半期純利益	863	1,320
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	51
親会社株主に帰属する四半期純利益	870	1,268

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	863	1,320
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	1	62
為替換算調整勘定	18	△1
その他の包括利益合計	19	61
四半期包括利益	883	1,381
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	889	1,328
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	52

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,466	2,250
減価償却費	895	899
無形固定資産償却費	104	140
長期前払費用償却額	73	77
減損損失	260	810
賞与引当金の増減額(△は減少)	183	225
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△8	△6
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△0
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	16	19
売上債権の増減額(△は増加)	1,070	△491
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,660	△1,937
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△621	524
仕入債務の増減額(△は減少)	1,778	2,501
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△555	606
その他の固定負債の増減額(△は減少)	6	-
その他	186	174
小計	195	5,796
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△16	△19
法人税等の支払額	△2,121	△1,299
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,942	4,477
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6	△6
有形固定資産の取得による支出	△1,544	△1,029
資産除去債務の履行による支出	△108	△53
無形固定資産の取得による支出	△243	△432
長期前払費用の取得による支出	△356	△270
差入保証金の差入による支出	△271	△159
差入保証金の回収による収入	197	116
その他	△16	△21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,350	△1,855
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,950	1,970
長期借入金の返済による支出	△1,002	△2,002
配当金の支払額	△1,750	△1,672
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,197	△1,704
現金及び現金同等物に係る換算差額	18	△2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,077	914
現金及び現金同等物の期首残高	5,799	5,630
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,722	6,544

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。